

【高等学校用】

令和8年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立神埼清明高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善や研修を通じて、全職員の「教師力」の向上を図り、生徒の「10の清明力(資質・能力)」の更なる育成に取り組む。 ・「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」において、生徒が主体的に学ぶ場面を増やし、自己肯定感の涵養に取り組む。 ・人権教育、情報リテラシー教育、交通安全教育などの充実を図り、生徒の能力を十分に発揮できる環境づくりを目指す。
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○東部地区唯一の総合学科高校として、一人一人の個性に応じた幅広い学びとキャリア教育を推進し、社会の構成員として自立した人材を育成すること。 ○地域の関係団体・企業等との連携・協働を実践し、学校の新しい魅力づくりに挑戦する。

	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
3 スクール・ポリシー	高校入学後も様々な場面で意欲的に活動する、次のような人を求めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・総合学科のキャリア教育を通して、卒業後の進路について考え、その実現に向けて挑戦する生徒を求めます。 ・総合学科の学習に主体的に取り組む、自己の資質・能力を伸ばそうと努力する生徒を求めます。 ・部活動やボランティア活動等に積極的に取り組み、本校の活力となる生徒を求めます。 	グラデュエーション・ポリシーを実現するために、次の方針により教育課程を編成します。 <ul style="list-style-type: none"> ・自己の適性や進路に応じて系列を選択し、主体的に科目を選択できる教育課程を設定します。 ・「産業社会と人間」及び「総合的な探究の時間」を通して、自己の在り方・生き方(理想の自分)を考えます。 ・地域の小学校・中学校、関係機関等と連携した実践的な学びを展開し、学習の深化を図ります。 	スクール・ミッションを実現するために、目指す生徒像を次のように掲げ、10の清明力(資質・能力)を育成します。 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよき人生を送るため、主体性、思考力、計画力、困難を乗り越える力(レジリエンス)、ストレスコントロール力を育成します。 ・よりよき社会の創り手となるために、想像力、協調性、規律性、対話力、発信力を育成します。

4 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒が主体的に学び、考える授業を目指す。 ②生徒が自分の夢や目標の実現に向けて挑戦する「志を高める教育」に取り組む。 ③社会人として必要なマナーやモラルをキャリア教育の一環として育成する。 ④豊かな心を育む教育の充実を図る。 ⑤部活動やボランティア活動など課外活動の活性化に取り組む。 ⑥地域に信頼される学校づくりを推進する。
-------------------	---

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○授業の充実と改善	○生徒が主体的に「学び」、「考え」、「挑戦する」ことができる授業を通して、10の清明力(資質・能力)を育成し、生徒の授業満足度を85%以上。	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業週間を設定し、教員が指導方法を互いに学び、研究する機会とする。 ・各教科で1回以上の研究授業を実施し、授業の工夫、改善を図る。
	○「基礎力診断テスト」の活用による学力向上	○GTZ(学習到達ゾーン)において、A・Bの生徒数を前年度より増加、D3の生徒数を前年度より減少をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回実施する「基礎力診断テスト」のGTZ(学習到達ゾーン)別分布や上位者一覧を作成し、前年度や前回との差などの情報を全教職員で共有し、生徒の学力向上に努める。 ・特にGTZD3の生徒に対しては手厚い指導を行う。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○他者に対して「思いやりの気持ちをもって対応している」と答えた生徒の割合を80%以上。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習や進路保障HR(公開授業)、講演会等を実施して、確かな人権感覚を育成する。併せて、職員対象の研修会を計画する。 ・授業や講演会で情報モラル教育を実施する。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止(いじめの定義、防止の取組、事案対処等)について、組織的な対応ができていないと回答した教職員の割合を90%以上。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの実態把握に努め、積極的な認知を行う。 ・いじめアンケートを年2回以上実施する。 ・教育相談週間や長期休業前後の個人面談を実施し、いじめや悩みなどの早期発見や早期対応を組織的に行う。
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成する教育活動の実施	○「佐賀県に誇りや愛着を感じる、どちらかといえば感じる」と回答する生徒の割合を80%以上。	<ul style="list-style-type: none"> ・「佐賀語り」やDVD教材の活用に加え、地理歴史科や国語科等の学習内容と関連付けながら、多面的に佐賀県の良さを捉えさせ、理解の深化を図る。 ・外部講師による講演に加え、各教科の学習内容と関連付けた学習を行うことで、学びの系統性を意識した郷土理解の充実を図る。
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●「交通ルールを遵守している」と回答する生徒の割合を80%以上。 ●自転車運転者への「青切符」導入の周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に交通講話を実施することで、交通安全や交通マナーについての意識の定着、特に青切符導入について周知を図る。 ・登校時の交通安全指導、自転車街頭指導、駐輪場の整理、鍵かけ運動、自転車点検、交通委員会の充実を行う。
	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●朝食喫食率を90%以上 ○健康診断受診率を90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりや健康診断結果などで健康の重要性について周知を図る。 ・健康観察、手洗いや手指消毒、教室の換気など、感染症の予防対策を徹底する。 ・保健室に入室する生徒情報を学年主任及び担任、外部機関などと共有し、連携した指導や支援を行う。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合を10%未満とする。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日を定時退勤推進日とし、声掛けをする。 ・学校閉庁日を設定し、保護者等にも周知する。 ・部活動の適切な休養日設定を推進する。 ・校務システム(メッセージ機能)やメール会議を活用した情報共有を行うなど会議の効率化を図る。
●特別支援教育の充実	○特別な教育的支援を必要とする生徒に、適切な指導や必要な支援を組織的に行うための校内支援体制の充実	○特別支援教育コーディネーターを3人配置して、各学年団やSC、SSWなどとの連携により、支援を要する生徒や課題を抱える生徒に対して、適切な指導・支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員対象の特別支援教育の研修会を実施する。 ・支援を要する生徒について、個別的教育支援計画と個別の指導計画による適切な支援を行う。 ・課題を抱える生徒について、必要に応じてケース会議を実施し、組織的な指導・支援を行う。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○進路実現	○進路希望の実現	○就職内定率100%を目指す。 ○進学については、第一志望の大学・短大・専門学校への合格率100%を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路希望、適性や能力を把握し、受験指導や面接指導の充実を図る。 ・企業、大学、短大、専門学校との情報交換を密に行う。 ・進路検討委員会を開催し、生徒にとってより良い進路を検討し指導を行う。 ・進路講演会などを通して自己のキャリアについて考える機会を作る。
	○キャリア教育の充実	○「10の清明力(資質・能力)」のうち、6個以上の項目で高めることができたと感じた生徒の割合を70%以上。	
★総合学科の特色を生かした唯一無二の誇り高き学校づくり	★生徒一人一人と向き合うキャリア教育と探究活動を通じた教育活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> ★1年次:自分の「系列選択」に満足していると感じている生徒の割合を85%以上。 ★2年次:「探究基礎編」の活動を通して、探究のプロセスを理解していると認識している生徒の割合を75%以上。 ★3年次:系列での「探究実践編」を通して、10の清明力のうち、6項目以上が身についたと認識している生徒が65%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路適性診断や進路ガイダンス、職業教育等を通して、生徒一人ひとりが「自己の在り方・生き方」について考え、適切な系列・科目選択に繋がるよう支援する。 ・探究活動において、「産業社会と人間」と連動し、「自己の在り方・生き方」からテーマ設定を行い、自身のキャリアを意識した探究活動が展開できるように支援する。 ・中間報告会や総合学科発表会等を通して、生徒が自らの学びの成果や魅力を分かりやすく伝える機会を設定する。
	★「さんフェアSAGA2026」をはじめとした生徒の校外活動の充実と、積極的な広報活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合75%以上、教職員の割合80%以上。 ★県外からの入学希望者5名以上。 ★「さんフェアSAGA2026」に携わった生徒の「自分たちの学びの魅力を伝えることができた」と感じた生徒の割合80%以上。 ★学校説明会やSNSを活用した学校の魅力発信の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会やオープンスクールにおいて、生徒が主体となって学校の魅力を発信する機会を充実させる。 ・県外からの入学希望者の確保に向けて、オンライン説明会の実施や学校の特色の明確化など、広域的な広報活動の充実を図る。 ・「さんフェアSAGA2026」においては、生徒が主体的に企画・運営・発信に関わり、自らの学びの魅力を他者に伝える機会とする。 ・学校インスタグラムによる広報の充実を図る。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり